

テーマ
4

お金の流れをつくる ～「銀行」と「金融」の仕組みと役割～

身近にある銀行。銀行でお金を預けたり、引き出したりできることは知っているよね。でも銀行の仕事はそれだけではないんだ。銀行には、みんなの暮らしだけではなく、経済社会全体を豊かにするいろいろな機能があるんだって。

1 身近な生活と銀行とのかかわり

皆さんがイメージする銀行とのかかわりは、銀行口座をつくってお金を預けたり、預けたお金を窓口やATM (Automated Teller Machine: 現金自動預け払い機)、CD (Cash Dispenser: 現金自動支払機) で引き出す、といったことだと思います。皆さん

のお金を預かり、安全に保管して、皆さんが必要なお金に引き出せるようにする銀行の業務を「預金」といいます。

自分の貯金箱に入れておくより銀行に預金しておいたほうがよい理由には、以下の3つがあります。

安全	銀行に預けておけば、自宅に泥棒が入ってお金を盗まれたり、貯金箱の隠し場所を忘れてしまったりすることがないので安心です。もしも、預けていた銀行が破たんしても「 <u>預金保険制度</u> 」によって守られています。
便利	預けたお金は銀行の窓口やATM・CDで簡単に引き出せるほか、預金口座から自動的に電気代や水道代といった「公共料金」の支払いや、クレジットカードの支払いができますので払い忘れることがありません。また通帳やインターネットで取引の記録を見ることができるので、 <u>家計簿、お小遣い帳代わり</u> になります。
有利	銀行に一定期間お金を預けると「利息(利子ともいいます)」が付きます。銀行は、皆さんから預かったお金で貸し出しを行います。「 <u>利息は、そのお金の「レンタル料」のようなもの</u> 」です。自分の貯金箱に入れていたら得られない収入です。

2 銀行の仕組みと役割

銀行にはいろいろな仕事があります。先ほど学んだ「預金」のほかに、「貸出」と「為替(かわせ)」があります。この3つの仕事は「3大業務」と呼ばれています。

貸出 とは?

「貸出」とは、お金を必要としている人に銀行がお金を貸すことです。「融資(ゆうし)」ともいいます。

銀行は、車や家を買うためにお金を必要としている「個人」や、設備や原材料の購入、社員の雇用などのためにお金を必要としている「企業」などにお金を貸し出します。

「貸出」のもとになるお金は、皆さんが預けた預金です。銀行は、お金を貸した相手から貸した金額よりも多いお金を返してもらいます。この多い分を「貸出利息」といいます。この一部がお金を預けてくれた人への「預金利息」になります。この「貸出利息」から「預金利息」を引いた差が銀行の「利益」になります。



為替 (かわせ) とは?

「為替」の代表的なものが「振込(ふりこみ)」です。

遠く離れた人に直接お金を渡しに行ったり、大金を持ち歩いたりするのは大変ですし、危険です。そんなとき、銀行の振込で、相手にお金を送ることができます。

銀行にお金を持っていき、支払いたい相手の銀行口座へお金を振り込んでくれるように頼みます。

コンサートのチケットや通信販売の代金などの支払いは、この「振込」を利用することが多いです。



3 銀行は社会の豊かさをつくります

銀行は「3大業務」を行うことで、**経済社会の潤滑油**としての役割を果たしています。つまり、すぐに使わないお金を持っている人からお金を預かり、お金を必要としている人に貸すことで、**お金が経済社会の発展のために有効活用されていく**ようにしているのです。皆さんの預金も、銀行を通じて、社会に役立っているのです。

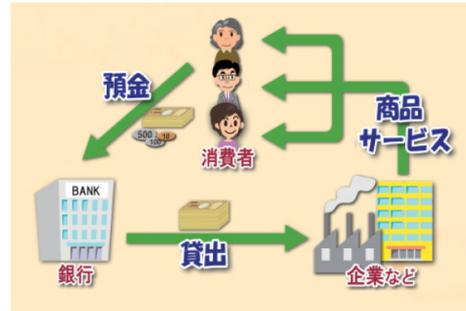
企業は銀行から借りたお金で人を雇ったり、設備を整えたりすることで、製品をつくったり、**便利なサービスを社会に提供できるようになります**。

例えば、多くの人が家や車を購入したり、おいしくて安全な食べ物を買ったり、遊園地やカラオケなどで楽しく、便利なサービスを利用することができるのは、企業が銀行の「預金」や「貸出」の機能を利用しているから、ともいえます。

また、こうした銀行の仕組みがあることで、皆さん

も「ローン」や「クレジット」が利用できるようになっていきます。

このように、お金を預かったり、個人や企業、国や地方公共団体にお金を貸したり、といったお金の流れをつくる仕組みを一般的に「**金融**」といい、銀行のように、これらの業務を行う機関を「**金融機関**」といいます。



4 間接金融と直接金融

企業や政府(国・地方自治体)はこの金融の仕組みを利用して、必要なお金を集めています。銀行などの金融機関からお金を借りることは、金融機関が個人や企業などから預かったお金を間接的に借り

ることになるので「**間接金融**」といいます。一方、企業や政府(国)が株式や債券(国債・地方債・社債)などを発行することで、個人や企業などから直接お金を集めることを「**直接金融**」といいます。

5 銀行と上手に付き合おう

これまで学んできたように、銀行はとても大切な役割を持っています。**皆さんの生活を便利にするための機能**だけではなく、「**間接金融**」の仕組みにより、**皆さんのお金を社会に役立てるための役割**も担っています。

「預金」だけではなく、大人になると「為替」や「貸出」でも銀行とのかかわりが増えてくることになるでしょう。銀行の役割をよく理解して、上手に付き合ってください。

本日の学習のまとめ ～身近な生活と銀行とのかかわりを理解しよう～

point
1

3大業務の内容を理解し、上手に銀行と付き合おう

point
2

銀行はお金を融通すること、経済社会の潤滑油としての役割を果たしていることを理解しよう

point
3

銀行を通じて、皆さんの預金が社会に役立っていることを理解しよう

**** コラム 知っていますか？ 銀行員のお仕事 ****

窓口でお金の出し入れをする銀行員を見たことがある人は多いと思いますが、銀行の仕事はそれだけではありません。個人や企業からのお金の借入れの相談や手続きをする人、お金を貸した後、きちんと返してもらえそうか企業の経営状況を調べる人などいます。また、外国のお金(アメリカのドルやEUのユーロなど)を売買する人もいれば、新聞やテレビのニュースをにぎわしている「企業の合併・買収(M&A)」のアドバイスなどを行っている人もいます。

銀行って窓口以外にも、本当にいろんな仕事があるんですね。